

## 6. 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学では建学の精神に基づき、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した者に「短期大学士(禅・人間学)」を授与する。

- 広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明できる。  
特に禅について深い専門的知識を習得している。
- 宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。
- 建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。
- 主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決できる能力を身につけている。

### I. 学修の成果に係る評価

本学での学修の成果に係る評価(単位の認定方法)については、筆記試験、実技試験、暗誦試験、レポート提出、作品提出等があり、これに発表点や課題レポートの提出等の授業への取組みが加味され総合的に行われる。

### II. 成績評価基準

評価の基準は、100点満点で次のとおりである。

- 秀 90点以上
- 優 80点以上90点未満
- 良 70点以上80点未満
- 可 60点以上70点未満
- 不可 60点未満(不合格)

### III. 卒業要件単位

本学を卒業するためには、2年以上在学し、次の単位を修得しなければならない。

教授会の議を経て、学長が卒業を決定する。

- (1) 教養科目12単位以上、専門科目50単位以上、合計62単位以上
- (2) 2学年配当のすべての必修科目
- (3) 卒業実践研究の審査および口頭試問に合格

※(1)については平成29年度入学者。

H24入学者は合計72単位、H25・26入学者は合計64単位、H27・28入学者は合計72単位